

春夏秋冬

8月末、来年度に向けた一般会計予算に対し各府庁から概算要求が出された。防衛費は過去最大の8兆5389億円となった。一方、歯科治療の技術は進展し向上しているにもかかわらず歯科医療費は年間2・6兆円から3・2兆円程度と20年もの間、ほぼ横這いだ。しかもここには金属の高騰が含まれるだけでなく医療DXやベースアップ評価料に関わる費用まで入っている。

防衛費増額の根拠は、第2次安倍晋三内閣の2014年7月、集团的自衛権の行使を容認する閣議決定にある。この決定にもとじて翌2015年9月19日に参議院本会議で安

法制が成立した。40年以上にわたる集团的自衛権の行使は憲法9条違反であり認められないとしてきたその憲法解釈を変更し、我が国が直接武力攻撃を受けておらず、またそのおそれがない場合でも日本が他国のために武力を使用することを可能にしてしまったことが、2014年7月の閣議決定と翌2015年安保法制成立の意味である。

それから10年。政府は安保法制に基づいて着々と軍備増強を進めている。自衛艦による米軍への防護活動が常態化しているが、日米一体となった共同訓練、軍備増強が進んでいる。敵のミサイル発射基地などを攻

撃する「反撃能力」の保有が打ち出され、国産の「12式対艦誘導弾」やアメリカから購入する巡航ミサイル「トマホーク」などの配備も進められている。この流れの中で、2022年末に軍事費5年で43兆円との閣議決定がなされ、2023年度予算からの大幅な防衛費増額は始まったのである。

今月23日は立憲民主党の代表選、27日には自民党総裁選だが、年内には恐らく総選挙が実施されるだろう。大軍拡路線を決定づけた集团的自衛権行使容認の閣議決定と安保法制成立に立ち返り、その一方で診療報酬改定がどうだったのか、医療や国民生活への影響はどうか、振り返って見る必要がある。歯科医療費の総枠拡大、国民が安心して医療にかかれる国であるために、この大軍拡路線を厳しい目で検証する必要があるのではないか。

歯科医療費の総枠拡大を

防衛費 過去最大8兆円超を問う

保険団連アンケート

歯科技工所アンケート中間速報②

連携加算「評価できない」声多数

協会は保団連が全国に呼びかけ取り組む歯科技工所アンケートを8月1日に府内1120技工所に届け、8月23日現在で103件が寄せられた。締め切り9月末。中間速報2回目は、「歯科技工士連携加算」(歯技連)の評価について紹介する。

「あまり評価できない」、「意味がない」、「加算にいたっていない」、「加算についての話題なし」、「技工士には還元されない」、「意味がない。技工の待遇改善にはなっていない」、「技工所、技工士の登録依頼はあったが立ち合い依頼はない」など改定後も変化がないことへのいら立ちが多く見られた。

点数低く、採算取れない 点数の内容に踏み込んだ意見では「点数が低いので医院に向くことを考えると採算が取れない」、「これが導入されたところで、技工所側の利益にはほぼ全くと言って良い程メリットはないので全く評価は出来ない。院内技工士が居る医院でも、その都度呼び出されて患者と対面行為をしている技工士がどれほどいるのか怪しいところだし、実際毎回呼び出されているとしたら、技工が忙しい院内技工士にとっては、(自費で、自ら色合わせとかを希望している場合以外であれば)負担でしか無いと思う」など、求められるものと点



施設基準研修会を実施 社保研究部は8月24日に、「歯初診・外感染・外安全・歯援診・口管強」の施設基準に係る研修

という意見もあった。そもその歯科診療報酬が診療実態に見合わず低すぎることで、技工料金が反映される仕組み自体が曖昧にされていることなどの抜本的な改善が求められる。 型インフルエンザ等感染症等に対する対策・発生动向(外感染2)▽高齢者の心身の特性(認知症に関する内容を含む)、口腔機能管理、緊急時対応(在宅療養支援歯科診療所)▽歯科疾患の重症化予防に資する継続管理(根面う蝕管理および口腔機能の管理を含む)、在宅医療および介護(口管強)——について解説した。第二部では小児の心身の特性・エナメル質初期う蝕管理(口管強)について堀屋氏が解説し、講演終了後は受講者に修了証を発行した。

歯科医療費の総枠拡大を

防衛費 過去最大8兆円超を問う

「あまり評価できない」、「意味がない」、「加算にいたっていない」、「加算についての話題なし」、「技工士には還元されない」、「意味がない。技工の待遇改善にはなっていない」、「技工所、技工士の登録依頼はあったが立ち合い依頼はない」など改定後も変化がないことへのいら立ちが多く見られた。



施設基準研修会を実施 社保研究部は8月24日に、「歯初診・外感染・外安全・歯援診・口管強」の施設基準に係る研修

という意見もあった。そもその歯科診療報酬が診療実態に見合わず低すぎることで、技工料金が反映される仕組み自体が曖昧にされていることなどの抜本的な改善が求められる。 型インフルエンザ等感染症等に対する対策・発生动向(外感染2)▽高齢者の心身の特性(認知症に関する内容を含む)、口腔機能管理、緊急時対応(在宅療養支援歯科診療所)▽歯科疾患の重症化予防に資する継続管理(根面う蝕管理および口腔機能の管理を含む)、在宅医療および介護(口管強)——について解説した。第二部では小児の心身の特性・エナメル質初期う蝕管理(口管強)について堀屋氏が解説し、講演終了後は受講者に修了証を発行した。

協会は14日、第17回理事会を開き、保険証残せ・オンライン資格確認義務化の問題、長期収載医薬品の選定療養導入、歯科技工所アンケートなどについて協議した。政府はマイナ保険証の利用が著しく悪いと判断した医療機関・薬局に対し、地方厚生局が個別に働きかける方針を示した。協会にも会員から「マイナ促進の脅しのようなメールが来た」と問い合わせが寄せられている。協会は臨時FAQニュースで会

員への正しい情報提供とアンケートを実施することを確認した。医療機関に対しマイナ保険証の利用促進の義務はどこにも定められておらず、療養担当規則は紙レセプトで請求している医療機関以外はオンライン資格確認の体制を整備しておく必要があると定めているだけである。

アンケートで会員からの声を集め、厚労省・国会議員要請に活用することを確認した。

Advertisement for PRAKTIKER disaster relief sets. It features the brand name 'PRAKTIKER' in a large font, followed by 'ブラクティカ' in smaller text. Below this, there are three columns of information: '帰宅/避難型(1DAY)' with a price of 39,800 yen (tax included 43,780 yen), '待機/滞在型(2DAY)' with a price of 45,000 yen (tax included 49,500 yen), and '(オプション) 女性用セット' with a price of 3,000 yen (tax included 3,300 yen). The advertisement also includes a QR code and contact information for the Osaka Prefecture Insurance Association and M&D Insurance Network.